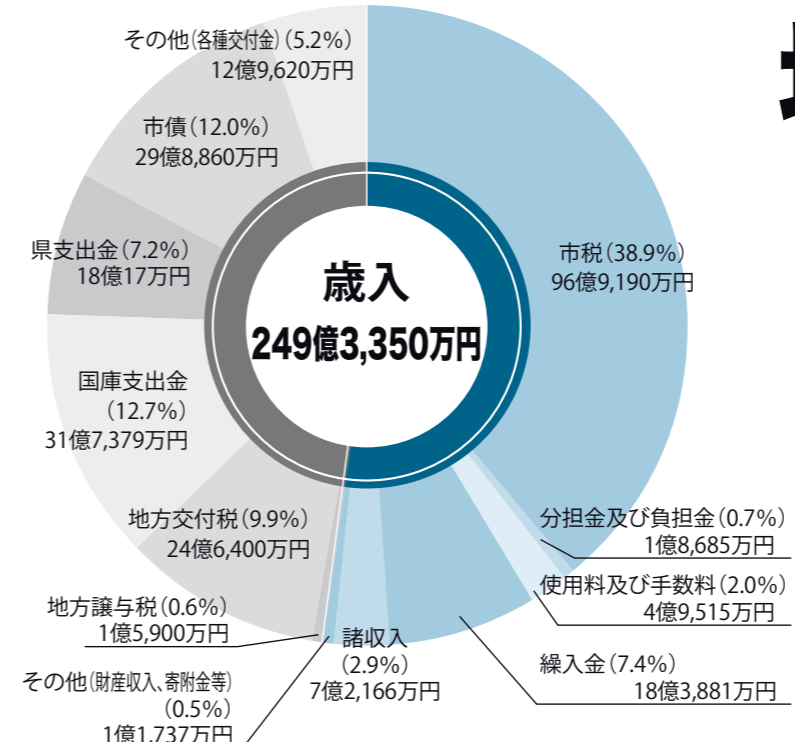


平成31年度 坂出市予算

一般会計当初予算額249億3,350万円 防災対策・人口増対策に重点

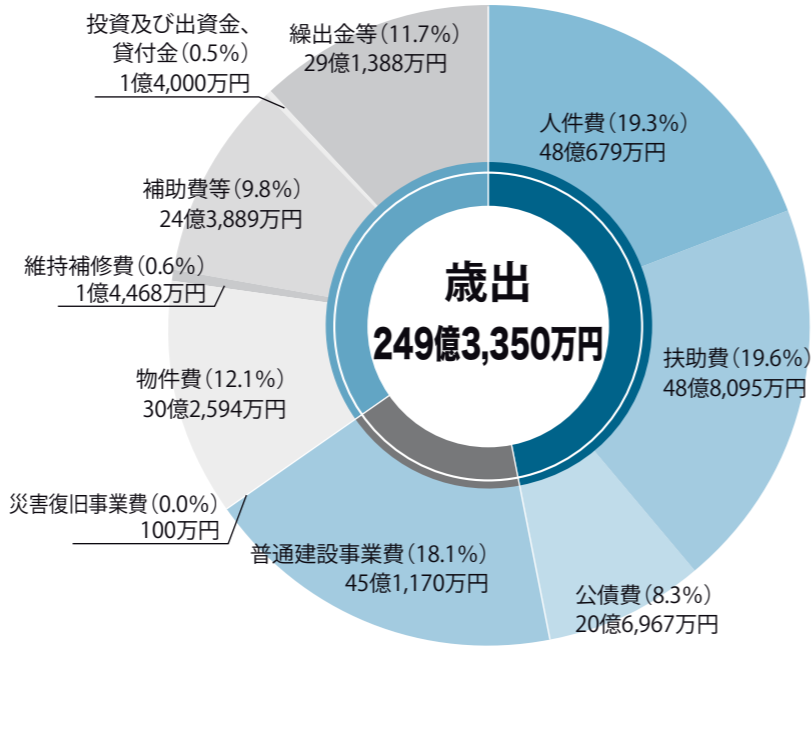
平成31年度の一般会計当初予算額は前年度比4.3%増(10億2,250万円増)となる249億3,350万円を計上しました。当初予算額は3年連続の増額となりました。これは、安全・安心のまちづくりの実現に向け、防災拠点としての新庁舎建設事業、ハザードマップ作成事業などの防災対策経費に積極的に予算を投入したためです。さらに、移住促進家賃等補助金や授乳室等整備事業などの人口増対策に重点配分しました。また、2020年東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致に向けた府中湖カヌー競技場トレーニングセンターの整備事業など、各種施策に予算を計上しました。

歳入の内訳【一般会計】



自主財源 130億5,174万円(52.4%)
依存財源 118億8,176万円(47.6%)

歳出の内訳【一般会計】



義務的経費 117億5,741万円(47.2%)
投資的経費 45億1,270万円(18.1%)
その他経費 86億6,339万円(34.7%)

Column 予算って どうやって作られているの？

平成31年度の予算編成は前年の10月頃から、全職員が一体となって取り組んでいます。

DATE 10月
市長より、新年度予算編成における基本指針や方向性を示した「予算編成方針」が全職員に通知されます。担当課は、これに基づき、次年度の事業実施に必要な額を計算し、予算作成を担当する政策課へ提出します。

DATE 10~12月
政策課は各担当課から提出された要求額を査定し、その後、各課からの復活折衝協議などを経て、予算案をまとめていきます。この過程では、「働きたい 住みたい 子育てしたい 共働のまち さかいで」の実現に向け、予算に反映させるなど、さまざまな観点から事業の取捨選択を行っています。

DATE 1月
市長自ら予算案を精査し、必要な指示・修正を終えると、予算案が完成。

DATE 3月
予算案は議会で審議され、議決を経てはじめて正式な予算となります。

坂出市の家計簿

坂出市が年収400万円の家庭だったら...

収入	
給料(市税)	155万円
親からの仕送り (国庫支出金・地方交付税等)	143万円
ローン借入(市債)	48万円
パート収入(諸収入・使用料等)	24万円
貯金から引き出し(繰入金)	30万円
合計	400万円

支出	
食費(人件費)	77万円
子どもへの仕送り(繰入金・補助費等)	84万円
医療費(扶助費)	78万円
光熱水費・日用品費(物件費)	49万円
家の増改築費(普通建設事業費等)	73万円
ローンの返済(公債費)	33万円
貯金(積立金)	2万円
知人への貸し付け等(貸付金等)	2万円
家具などの修理代(維持補修費)	2万円
合計	400万円

会計名	平成31年度	平成30年度	増減率(%)
一般会計	249億3,350万円	239億1,100万円	4.3
特別会計	149億1,354万円	150億961万円	▲0.6
国民健康保険	65億5,498万円	64億9,589万円	0.9
与島診療所	738万円	825万円	▲10.6
港湾整備事業	2,025万円	1,861万円	8.8
王越診療所	1,152万円	1,894万円	▲39.2
下水道事業	14億9,854万円	15億4,117万円	▲2.8
駅北口地下駐車場事業	1億179万円	1億120万円	0.6
介護保険	57億2,142万円	58億4,352万円	▲2.1
介護予防支援事業	6,060万円	5,523万円	9.7
後期高齢者医療	9億3,706万円	9億2,680万円	1.1
企業会計	65億2,162万円	59億7,339万円	9.2
市立病院事業	65億2,162万円	59億7,339万円	9.2
総合計	463億6,866万円	448億9,400万円	3.3

用語説明
自主財源 市が自らの手で徴収または収納できる財源(市税、使用料等)
依存財源 国または県が関わる財源(地方交付税、国・県支出金、市債等)
義務的経費 その支出が義務づけられ、任意に削減できない経費(人件費、公債費等)
投資的経費 社会資本の整備に要する経費(道路整備、学校建設等)
その他の経費 物件費や維持補修費などに支出される経費

子育てしたいまち



新規
授乳室等整備事業 300万円

授乳スペースなどを整備する市内の店舗に補助するとともに、公共施設に整備を行います。



継続
子ども医療費助成事業 2億412万円

中学校卒業までを対象に、入院に加えて外来診療分の医療費を助成することで、子育て世代の経済的負担を軽減し、子育て支援の充実を図っています。

新規
パソコン教室のタブレット導入 820万円

市内10小学校のすべてのパソコン教室の機器を、タブレット端末機能付パソコンに置き換え、ICT環境を整えることで、児童の学習環境の充実を図ります。

新規
図書館施設整備事業 3,280万円

図書館東側進入路の拡幅や駐輪場の撤去・新設等の周辺整備工事を実施します。



継続
庁舎建設事業 21億996万円

防災拠点としての機能を有するとともに、誰もが利用しやすい施設として建設が進む新庁舎。今年度は免震構造の取り付けと地上部分の建設に取り掛かります。



2020年度に完成予定の、新庁舎イメージ

平成31年度 主要事業

平成31年度当初予算に計上した主要事業について、「働きたい 住みたい 子育てしたい 共働きのまち さかいで」の実現に向けた取り組みを分野ごとに紹介します。

住みたいまち

継続
まちなか中高層共同住宅建設促進事業補助金 5,000万円

駅周辺の中心市街地における、快適でまちなかにふさわしい住まいの供給を促進するため、条件に適合した中高層住宅の建設に対して補助金を交付します。



新規
移住促進家賃等補助金 440万円

単身世帯でない満40歳以下のかたが、県外で3年以上居住した後に、一時的な居住でなく転入した場合に、家賃の半分（月額2万円を上限）を2年間、初期費用の半分（上限6万円）を補助します。

新規
民間危険ブロック塀撤去支援事業 320万円

災害に強い、安全で安心なまちづくりの観点から、民間の危険なブロック塀の撤去等に要する費用の一部を助成します。

新規
小児生活習慣病対策事業（中学校） 92万円

中学1年生を対象とした生活習慣病予防健診における血液検査を新たに実施し、小学4年生を対象とした小児生活習慣病予防健診後の実態を把握するとともに、将来にわたって質の高い健康を維持していくための対策を推進します。

働きたいまち

新規
就職説明会等出展支援事業補助金 80万円

市内の中小企業が、市外で開催される就職説明会にブース出展する際に、費用の一部を助成します。

新規
移住支援金 300万円

東京23区在住または通勤者が坂出市に移住し、県が指定する中小企業等に採用されて3カ月が経過した世帯を対象に、最大100万円を支給します。

継続
府中湖カヌー競技場トレーニングセンター整備事業 1億2,185万円

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前合宿誘致、2020年全国高校総体の開催等に向けて、県と共に府中湖カヌー競技場トレーニングセンターの建設およびカヌー研修センターの改修を行います。（H29～H31年度）



新規
防災・危機管理スペシャリスト養成プログラム 50万円

大規模災害に対する職員の対応力を高めるため、防災関連部局の職員を対象として、専門家を招いた研修制度を実施し、全職員への教育を担う講師として養成します。

新規
ハザードマップ作成事業 1,000万円

水防法の一部改正に伴う洪水浸水想定区域の見直しにより、洪水ハザードマップの改訂を、大屋富町新地地区を新たに地すべり土砂災害警戒区域に指定したことに伴い、土砂災害ハザードマップの改訂を行います。

新規
ため池ハザードマップ作成事業 1,300万円

平成30年7月豪雨等を踏まえ、人的被害を与える恐れのある防災重点ため池について、浸水想定区域図を新たに作成・公表します。